

◎木曾岬町下水道公共柵仕様書

塩ビ製公共柵

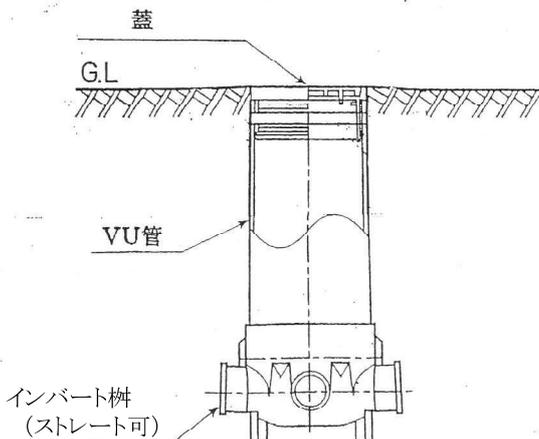
- 1.公共柵の材質は塩ビ製とし、内径は $\phi 300$ mmとする。
- 2.柵の設置箇所に車両乗入れが無い場合については、総重量が2トンまでの耐圧強度のある蓋(T 2)を使用するものとする。
- 3.柵の設置箇所に車両乗入れが有る場合については、総重量が8トンから25トンまでの耐圧強度のある防護蓋(T 8～T 25)を現場の状況に応じて選択し使用するものとする。
- 4.蓋の中央部に町章($\phi 75$ mm以上)を入れる。
- 5.蓋の開閉方式は塩ビ製についてはワンタッチ式(クサリ付)、铸铁製についてはボール式(クサリ付または蝶番付)とする。
- 6.車両乗入れが無い場合の蓋及び車両乗入れが有る場合の内蓋は、外周にゴムリングが施してあり密閉性が高く、防臭性、防水性に優れているものとする。

参考

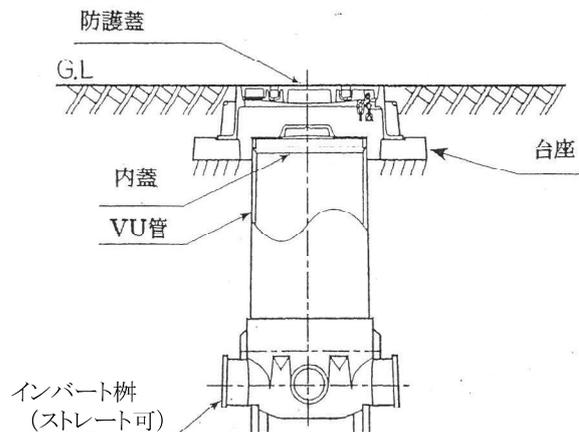
町章



車両乗入れが無い場合の施工例



車両乗入れが有る場合の施工例

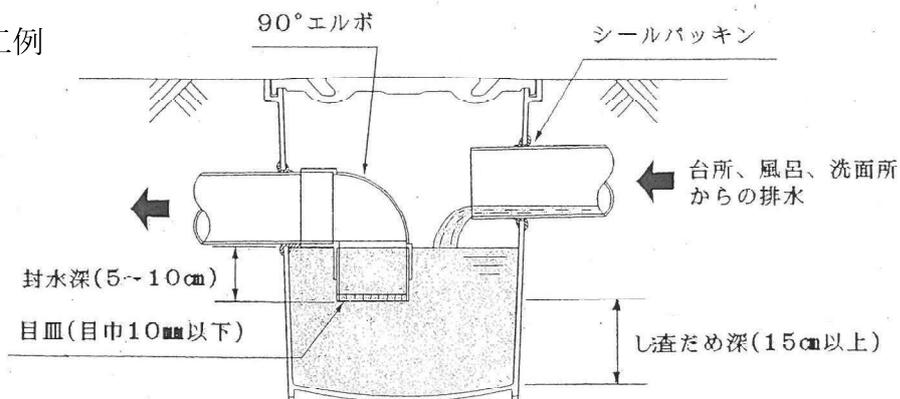


◎運用方法

1. 宅内枳について

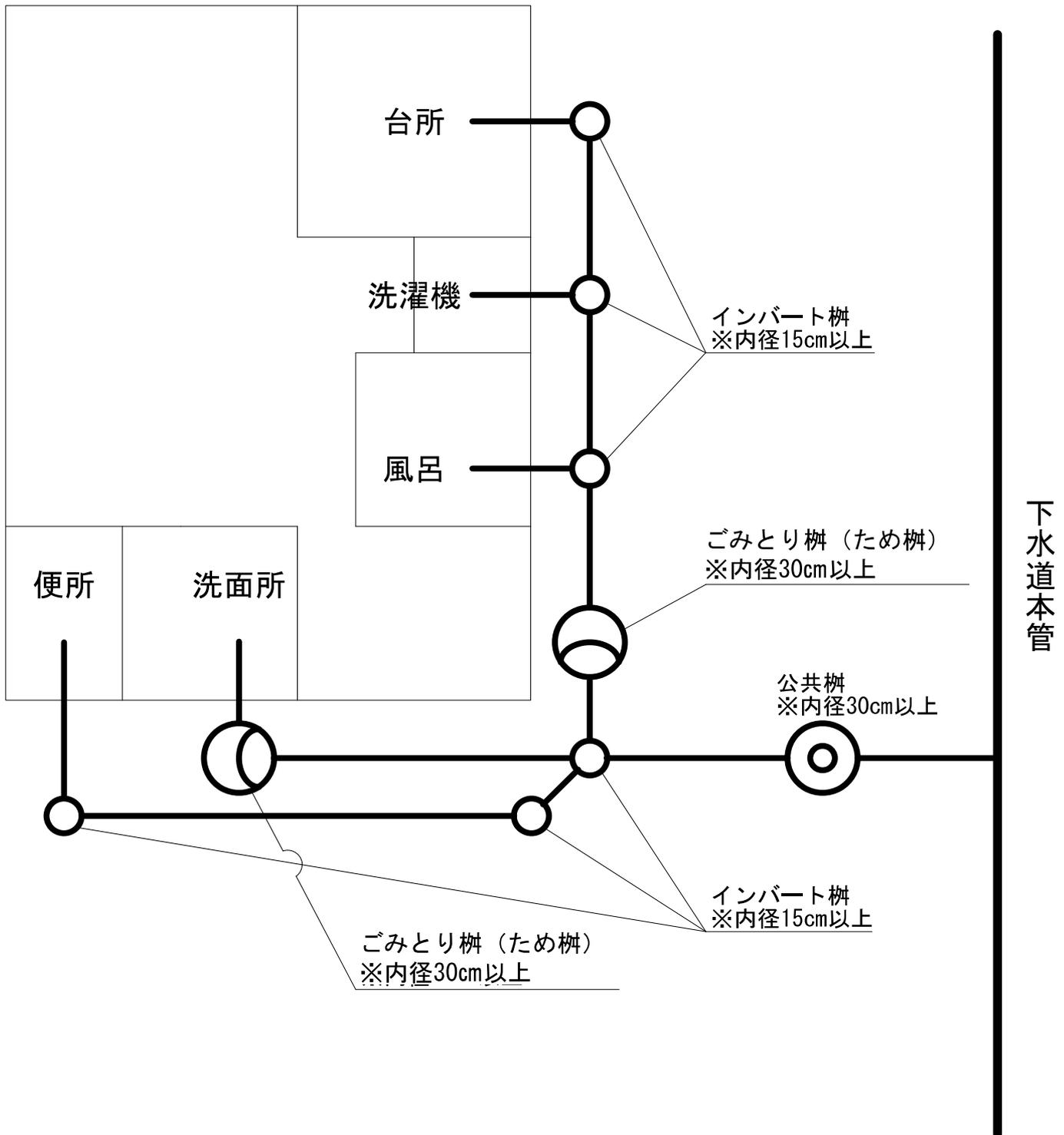
汚水については内径 15 cm以上のインバート枳にて、また雑排水については各家庭排水の中にはし渣(食物くず、髪の毛等)が含まれ、これが中継ポンプ及び処理場の運転に支障を及ぼす可能性があり、本管へ流入しないような対策を講じる必要があることから、引き続きごみとり枳(内径30cm以上)にて施工する。

ごみとり枳の施工例



目幅10mm以下の目皿もしくはごみかごを設置すること
どちらも施工可能である場合はごみかごを優先すること

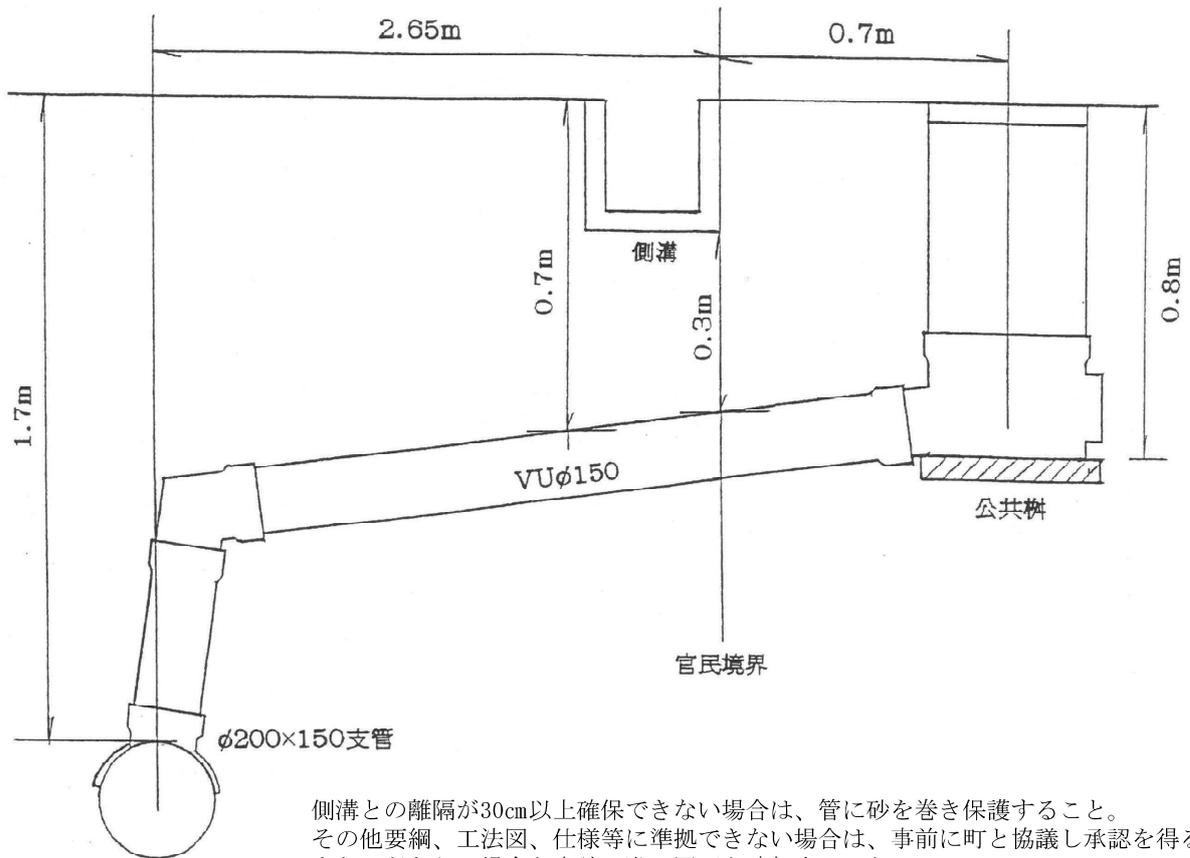
宅内柵、公共柵施工の具体的な運用について



※便所からの経路については、トイレトペーパーが詰まらないようにため柵ではなくインバート柵にて施工すること。

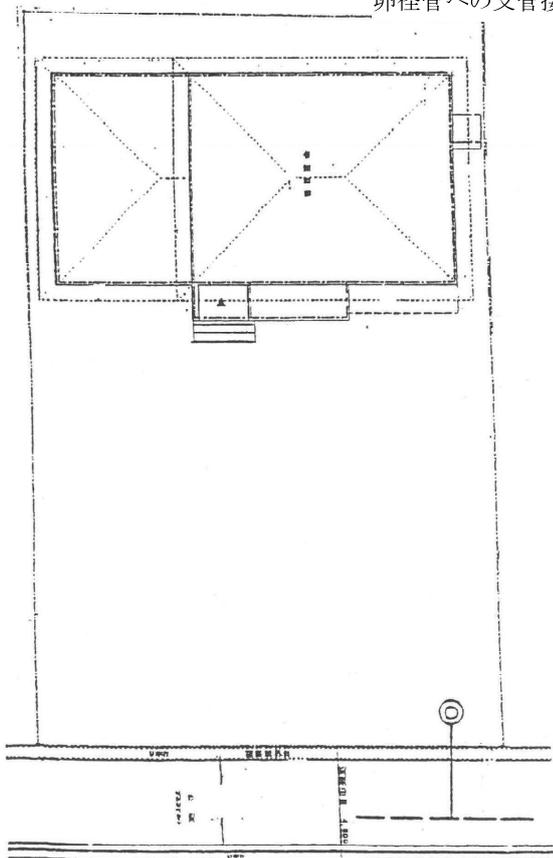
※合併浄化槽の設置（農集のみ）及びマンホールへの接続可否については「下水道流入取付管の施工（公共柵の取出工事）についての考え方」を元に別途協議のこと。

下水道取付管工法図 (参考例)



下水道本管φ200

側溝との離隔が30cm以上確保できない場合は、管に砂を巻き保護すること。
 其他要綱、工法図、仕様等に準拠できない場合は、事前に町と協議し承認を得ること。
 また、どちらの場合も申請の際に図面を追加すること。
 最上流部や流量が見込めない箇所は管軸60°支管などの使用により上流への逆流を抑制し、
 本管の閉塞を防止すること。
 卵径管への支管接合(円形)はパテ状の下水接合材にて隙間を埋めること。



管路清掃時に圧力による逆流を防ぐため公共樹の蓋を開けられるように設置すること。(フェンス等で囲う場合は手が届き、開閉できるように設置すること。)

